

これからの時期に気を付けたい熱中症

7月に入りこれからが暑さの本番です。そこで注意したいのが「熱中症」です。熱中症とは、運動や暑熱から起こる体の障害の総称です。いわゆる熱射病や日射病と呼ばれているものは、重症の熱中症のことです。なるべく早い段階で発見し、応急処置を行うのが大切です。

まず、初期症状の見極めとして、以下の症状には注意しましょう。

- ・汗のかき方がおかしい
 - ・立ちくらみや目眩がする
 - ・脈が速くなる
 - ・唇がしびれる
 - ・筋肉痛や筋肉のけいれん など
- 特にふいてもふいても汗がでる、もしくはまったく汗をかいていないなど、汗のかきかたに異常がある場合には、熱中症にかかっている危険性があるので注意しましょう。

次に、熱中症の種類です。

① 熱失神
気温が高い環境で激しい運動をした時などにおこります。体内の水分が急激に減少して脱水状態になることによって、血液の循環機能に異常をきたし、めまいや失神を起こし、急に意識がなくなります。失神、口唇の痺れ、顔面蒼白、目眩、立ち眩み、呼吸回数が増えます。

② 熱けいれん
大量に汗をかき、水だけを補給して血液の塩分（ナトリウム）濃度が低下した時におこります。足、腕、腹部の

筋肉に痛みを伴ったけいれんが起こります。通常、体温の上昇はみられません。

③ 熱疲労
大量に汗をかき、水分の補給が追いつかないと、身体が脱水状態になり熱疲労の症状がみられます。最も多くみられる熱中症で、頭痛、吐き気、倦怠感、脱力感などで発症し、進行すると、脳血流の減少によるめまいや耳鳴り、血圧の低下による顔面蒼白や冷汗などがおこります。

④ 熱射病
死亡率が高く、病院で緊急の手当てを要する症状です。体温調節のための中樞機能そのものが麻痺してしまうため、体温が 40℃以上に上昇し、発汗もみられなくなり、また吐き気や頭痛・言動がおかしくなったり、意識を失ったりします。

万が一熱中症が起きてしまった時には、まず風通しのよい涼しい場所に移動し、衣服を緩め、体を冷やしましょう(首すじ、脇の下、大腿部の付け根など大きい血管を冷やすのが効果的です)。水分を補給させ、できるだけ早く病院等の専門の機関に相談し、指示を仰いでください。

(お)



頭の体操

頭の体操に漢字の勉強はいかがでしょう。今回は同音異義語の問題です。カタカナを漢字に直してみましょう。

- ① イチメイの人がイチメイをとりとめる。
- ② コウカイに出たことをコウカイする。
- ③ キシヤのキシヤがキシヤでキシヤする。

解答は次号に掲載します。

スギウラ株式会社

〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号
代表
027-361-5808
営業1部
027-361-5734
営業2部
027-361-5780

Fax
027-361-1272

当社 Web サイト
www.kamisugiura.co.jp

お気付きの点や質問、疑問などありましたら、ご遠慮なく営業または、下記までお問合せください。

お問合せ
メールアドレス
sg-okamoto
@kamisugiura.co.jp

いよいよペーパーショウ in 群馬です

いよいよ7月になりました。梅雨の時期ですが今年は、5月から夏日や真夏日が多く、晴れの日は本当に暑いが続きますね。しかし、これからは夏本番です。気象庁の予想では、「今年の夏の気温は平年並みか少し高い」とのこと。夏は暑いほうが景気的にはいいのですが、あまり歓迎したくはないですね。

さて、いよいよ今月は弊社主催の『ペーパーショウ in 群馬』を開催致します。暑い中、大変だとは思いますが、ぜひお越しくださいますようお願い申し上げます。

みなさんは『土佐典具帖紙(とさてんぐじょうし)』という紙をご存知でしょうか？

『土佐典具帖紙』は『かげろうの羽』にたとえられるほどの世界一薄い手漉き和紙です。楮(こうぞ)の繊維とトコロ(トロロアオイの根からでる粘液)をきれいな岩清水と混ぜて漉き船(紙を漉くための水槽)で漉きます。

『土佐典具帖紙』は、美術品や文化財の修復、和紙ちぎり絵などに使われています。有名な使用例は、バチカン市国『システィーナ礼拝堂』のミケランジョロが描いた天井画の『最後の審判』の修復にも使われました。

厚さは、0.03 mmで機械漉きのものもあり、極々薄で 1 m²あたりの重量が 3.5 gほどということです。ティッシュペーパーが一般的に 11~12g/m²ですからその薄さが想像できるのではないのでしょうか。

今回の『ペーパーショウ in 群馬』に出展していただく全国和紙ちぎり

絵高崎サークルの大井先生の作品にも、『土佐典具帖紙』が使われています。その作品も展示されますので、ぜひご覧下さい。

●『ペーパーショウ in 群馬』
みて、さわって、たのしい紙の世界

●日時
2015年7月10日(金) 10時~17時
11日(土) 9時~16時

●会場
ビエント高崎 エクセルホール

●出展団体
・群馬県デザイン協会
・群馬県書道協会
・群馬県産磨製造協同組合
・全国和紙ちぎり絵高崎サークル
・紙工房たかの
・日本包装システム
・三菱製紙・三菱製紙販売
・中越パルプ工業
・ユポ・コーポレーション
・平和紙業
・竹尾
・キングコーポレーション
・山櫻
・スギウラ

●ワークショップ・イベント
・書道体験
・ちぎり絵ワークショップ
・細川紙(世界文化遺産)でウチワ作り
・エコバッグ作り
・ユポで魚釣り と貼って遊べるユポ
・「ウーペ」ができる瞬間の大実験
・ハガキの紙漉き体験
・メモ帳作り
・抽選会 など

(T)

紙を何回も折ると…

私たちがよく使うコピー用紙ですが、厚さはおよそ0.08mmと軽くて薄いです。しかし、A/4のコピー用紙が1箱まとまると、2500枚で10kgと結構な重さになります。

また、紙を2つに折った時、厚さは当たり前ですが2倍(2枚分)になります。もう1回折ると今度は4倍(4枚分)、更に1回折ると8倍(8枚分)となっていきます。

この作業を繰り返していくと、22回目には、約335mになります。この高さは東京タワー(333m)を越える高さになります。23回目になると671mでスカイツリー(634m)を超えます。地球から月までの距離はおよそ38万kmなので、42回折った時は約35万kmで届きませんが、43回目は70万kmと大きく上回ります。

1枚で0.1mmにも満たない紙を43回折るだけで月に届いてしまうなんて、計算上は合っているのかもしれませんが、なんだか信じられない話です。薄くて、軽い紙でもいろいろな可能性があるのかと感じさせられました。



(S)

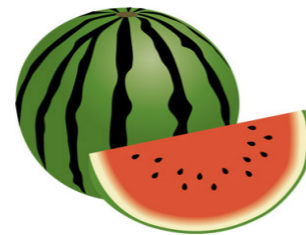
山櫻から匂いつき封筒箱『Fragra』新しい匂い発売

以前ニュースレターでご紹介させていただきました、山櫻の匂いつき名刺箱の『Fragra』に新商品が発売されました。

すでに発売中の、ヒノキ・ペパーミント・焼肉・カレー・バナナ・焼きたてパンの6種類に新たに夏にぴったりの『スイカ』が加わりました。

今回の匂いを決めるにあたっては、山櫻のフェイスブックページで投票を行い、1位になった物が商品化されました。惜しくも商品化されなかった2つの候補は『蚊取り線香の匂い』と『湘南の海の匂い』だったそうです。匂いとしては、『スイカ』が一番良さそうですが、興味深い2種類だったので残念な気持ちで一杯です。

また、8月3日よりご要望に合わせて匂いを作成できるようになりますので、自分だけのオリジナルを作るのも面白いかもしれませんね！名刺交換時の話のたねになること間違いなしです。是非弊社担当営業までお問い合わせ下さい。



(S)

今さら聞けない紙の話

みなさんは『半切断ちっぱなし』と『半切化粧』の違いをご存知でしょうか？当たり前すぎて聞けない事を今回取り上げさせていただきます。『半切断ちっぱなし』は紙を半分にするだけの断裁方法で、『半切化粧』は半切にした

あと更に切った反対側を切って整える(化粧断ち)断裁方法になります。

今さら聞けない事でも、私自身も知らない事や勉強になることもありますので、是非何なりとお問い合わせ下さい。

(S)

金沢ペーパーショウ

6月19日から21日まで、石川県産業展示館にて、第44回金沢ペーパーショウが開催されました。

金沢ペーパーショウは、金沢の紙卸商である株式会社中島商店さんにより、年に1回開催されており、今年で44年目の歴史ある展示会です。当初は、弊社の仕入れ先でもある竹尾が東京で開催している展示会を北陸でも開催したい、という目的で企画されたとのこと。今では3日間で4千人前後が来場し、大部分が一般の方という、まさに「紙の楽しさを広く一般の方々に伝える」展示会になっています。

「金沢“ペーパーショウ”」という名称をみてもお分かりいただける通り、弊社の展示会「“ペーパーショウ” in 群馬」は金沢ペーパーショウの影響を強く受けています。影響を受けているというよりも、中島商店さんから色々とアドバイスをいただいたり、実際に金沢ペーパーショウに伺うなど、多々参考にさせていただいております。弊社展示会で「手漉き体験」をすることにしたのも、金沢ペーパーショウでそのコーナーがあったから。色々と真似参考にさせていただきました。

今回の金沢ペーパーショウから何点か、興味深かったものを紹介させていただきます。

まず1点目、越前和紙のドレスです。様々な漉き方の和紙を使用しているため単調にならず、豪華さの中にも素朴な風合いがあるように感じました。実際にモデルさんが試着された写真も飾られていましたが、一般的なドレスに負けることも劣らない質感は、まさに「紙」でした。



2点目は、毎度身最層で大変恐縮ではありますが、(株)ユポ・コーポレーションのブースです。前回の金沢ペーパーショウもそうでしたが、ユポ・コーポレーションブースは、「ユポ」の知名度が低いこともあり、一般の来場者に楽しんでもらおうという心意気が伝わってくるような内容です。今回は4つの体験コーナーが用意され

ていました。星型のユポ静電吸着を来場者に貼ってもらい天の川を作るコーナー、屋外に貼っても大丈夫なユポの短冊に願い事を書くコーナー、ユポではがき・カードケースを作るコーナー、ユポで風車を作るコーナーです。このうち、風車だけは参加費がかかりましたが、それ以外は無料でした。はがき・カードケースは、筋押し・抜き加工を施してあるユポと、サクシオンタックを様々な形に抜いたものを用意し、好きにデコレーション・色付けをするというものでした。今回私がお邪魔したのは平日昼間でしたが、それにもかかわらずユポブースは一般の方で大変賑わっていました。



3点目は、デザイン寄席です。これはJAGDA石川(財団法人日本グラフィックデザイナー協会石川地区)所属のデザイナーが、実際にデザインし、商用で採用されたものを展示していました。私は何年か石川県に住んでいたことがあるため、何点か見覚えのあるものもありました。商用デザインは、ある種、雲の上の出来事のように感じるため、このように身近な「デザイン」を展示することで、「デザイン」が普段の生活に近いところにあると気づかされました。



今年3月に北陸新幹線が開通し、金沢が大変近くなりました。もし金沢ペーパーショウの時期に金沢へ行くことがあれば、ぜひ金沢ペーパーショウの会場にも足を延ばしてみてください。

(M)